介護DXを利用した抜本的現場改善事業事業

公開用

課題名：音声AIによる介護記録活用支援プラットフォームの開発

代表機関／代表者：九州工業大学／井上創造
分担機関：株式会社スマート、株式会社ラムロック、神戸中央福祉会、社会福祉法人吉祥会、社会福祉法人真光会、社会福祉法人天水会
研究期間：令和７年８月～令和８年３月

研究開発目的

- スマートフォンを介した音声対話AIによる記録・申し送り・振り返り・翻訳支援の実現と、それによる介護業務の生産性向上およびケア品質の維持・向上を目的とする。
- 「音声AI×スマートフォン」の介護DXモデルを提示。
- これまでスマートフォンアプリを中心として構築された行動ログ・タイムスタディ基盤を拡張し、電子ドキュメントやみまもりセンサとの連携による情報一元化を実証する。

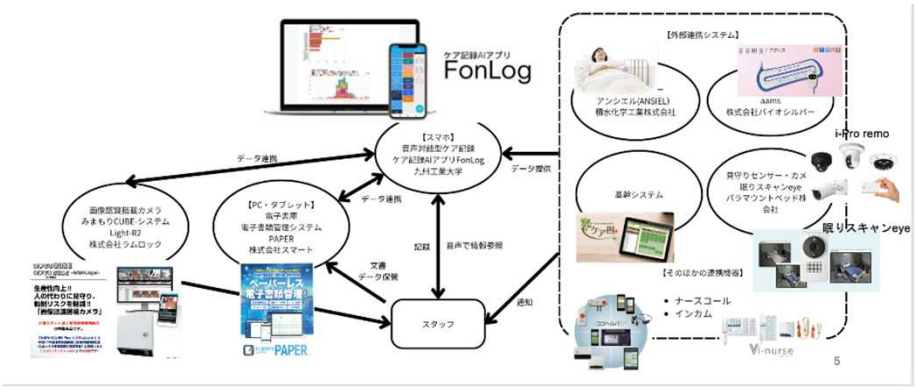
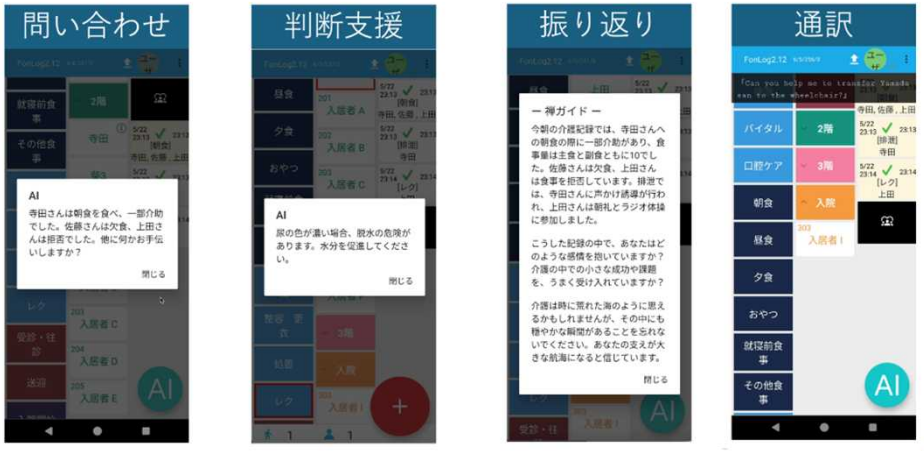
取り組み

- システム連携：スマートフォンと電子ドキュメント、見守りセンサをクラウド上で統合。
- 上記連携されたデータに対する、スマートフォンからの問い合わせ機能を実現。
- 音声AIにより翻訳支援、振り返り活用の活用を模索。
- スマートフォンアプリに元々搭載された機能を用いて、書き起こしによるタイムスタディ・アンケート・利用ログを基に、記録時間短縮・情報共有改善を定量評価。

期待される成果

- 音声入力による記録・申し送り時間の短縮
- 情報アクセス・共有の即時性向上とケアミスの減少
- 外国人スタッフの理解促進と定着支援
- ノーリフトや離島を含む多様な現場条件に適応可能な介護DX導入モデルの確立

システム連携（予定含む）



音声AIインタフェース